



働く女性同士が交流・意見交換できる場

青森市働く女性ネットワーク＝青森はたじょネット

わくわく はたらく 人を つなぐ

青森 はたじょ ネット

結婚、出産・育児、親の介護など、人生では様々なライフイベントが訪れます。ライフイベントに直面した時、キャリア形成との選択を迫られるのは多くが女性です。女性が生き生きと働き続けられることを選択できる環境づくりを進めるため、「青森市働く女性ネットワーク（愛称：青森はたじょネット）」を創設しました。

「青森市男女共同参画プラン」スタート！

青森市では、令和6年11月に新たな「青森市男女共同参画プラン」を策定しました。計画の理念を定め、その実現のために3つの基本方向を掲げています。本プランに基づき、男女共同参画社会を実現するための取組を進めていきます。

計画期間 令和6年度～令和10年度（5年間）

計画理念 「男女共同参画都市」青森宣言

私は私を大切に思うのと同じ重さで
あなたを大切に思う
性別を超え 世代を超え 時代を超え
人と協調し 人を信頼できる
誇り高い人間でありたい
すべての人の自立と平等をめざして
青森はここに「男女共同参画都市」を宣言します



計画の詳細は市ホームページ
からご確認ください

「青森はたじょネット」
はこの取組の一つ

基本方向1 全ての人があらゆる分野で活躍できる社会づくり

＜主な取組＞ ①政策・方針決定過程への女性の参画拡大 ②ワーク・ライフ・バランスの実現
③雇用等における男女共同参画の推進 ④農林水産業等における男女共同参画の推進

基本方向2 安心して暮らせる社会づくり

＜主な取組＞ ①女性に対するあらゆる暴力の根絶 ②生活上の困難に対する支援と人権の尊重
③地域における男女共同参画の推進 ④生涯を通じた健康支援

「アンジュール発行」
はこの取組の一つ

基本方向3 男女共同参画社会の実現に向けた基盤づくり

＜主な取組＞ ①男女共同参画の視点に立った慣行の見直し、意識の改革
②教育・メディア等を通じた理解促進



全ての人を持っている性のあり方「SOGI」

青森市では、男女共同参画に関する青森市民の意識や実態等を把握するため、令和5年12月から令和6年1月にかけて男女共同参画に関する市民アンケートを実施しました。「LGBTQ」など“性の多様なあり方に関する言葉の認知度”を調査したところ、最も認知度が低い言葉は「SOGI」で、知っていると回答した人の割合は9.2%でした。そこで、今回は「SOGI」について紹介します。

SOGI（ソジ／ソギ）

Sexual Orientation（性的指向：恋愛感情や性的関心がどの性別に向いているか、向いていないか）と
Gender Identity（性自認：自分が認識している性別）の頭文字をとった言葉

「SOGI」とは、全ての人々の性のあり方を示す概念です。性的マイノリティ（LGBTQ）だけではなく、一人ひとり異なる性のあり方があるという考え方を示す言葉として、「SOGI」という言葉が使われるようになってきています。

性的マイノリティ **にじいろ** 電話相談

LGBTQをはじめとする性的マイノリティの方々、ご家族、ご友人などのさまざまな悩みに関する相談をお受けします。

☎ 017(776) 8803【専用】

毎週火曜日（年末年始を除く）午前9時～午後9時

＜発行＞

青森市 市民部 人権男女共同参画課

〒030-0801 青森市新町 1-3-7

TEL 017(734) 2296 FAX 017(734) 5765

＜編集スタッフ＞

相馬 千佳子

（青森市男女共同参画プラザ「カダール」）

※転載ご希望の場合はご連絡ください。



『Un Jour』への
ご意見・ご感想を
お待ちしております

私たちが「青森はたじょネット」の創設メンバーです

青森はたじょネットは、市内の企業に勤める人、全国規模の企業で働く人、個人で起業した人、首都圏の企業に在籍しテレワークをしている人など、様々なバックグラウンドを持つ7名のメンバーで立ち上げました。

米坂 智都
YONESAKA
CHISATO

(株)もしも
マーケティング事業部
(Web 広告運用コンサルタント)
栃木県出身。3人の娘と賑やかな毎日です。休日は夫とコーヒー屋を営んでいます。

三浦 詩音
MIURA
SHION

(株)オカムラ食品工業 D2C 事業部
(販売、企画・運営担当)
動物が好きで、
休日は愛猫と遊んだり、
実家の大型犬たちと戯れに
行っています！

member
Meeting

玉熊 亜美
TAMAKUMA
AMI

(株)山神 総務課
(バックオフィス事務、
ほたて貝殻事業担当)
食べる事が好きで食を通じて
健康を追求！栄養バランスや
食材選びにこだわっています。

里村 好美
SATOMURA
YOSHIMI

(株)エフエム青森
(アナウンサー・番組ディレクター)
2008年エフエム青森入社
あだ名はラムちゃん。
9割津軽弁のアナウンサーとして
活動しています。

青木 瑛里華
AOKI
ERIKA

(株)JTB (営業担当)
食えること・飲むこと・
海外旅行・温泉が好きです。
今年の目標は健康！

相澤 理恵
AIZAWA
RIE

(株)山神 商品企画開発課
(新商品の開発、ほたて貝殻事業担当)
犬を飼っているため、休日は犬と
遊んだり、読書をして過ごしてい
ます。

青森はたじょネットの
皆さんに聞いてみました！

青森はたじょネットの
皆さんが働いている環境に
ついて、教えてください。

青木 フレックスタイム制が導
入されていて、自分の都合に合わ
せて勤務ができるので、働きやす
いです。導入前より、効率性や生
産性を意識するようになりました。

米坂 フレックスタイム制やテ
レワークをはじめ、社員の自由な
働き方が尊重されていて、女性だ
けではなく、男性にも働きやすい
環境が確立されています。社員が
信用され、大事にされていること
が実感できると、会社へ貢献した
いと感じます。

三浦 当社も最近フレックスタ
イム制になりました。また、人事
評価制度があり、評価項目に沿っ
て公平に評価され、昇給や賞与に
反映されると、やりがいにつなが
ると思っています。

青森はたじょネットでは、
どのような活動をしていき
たいですか？

青木 このネットワークで活動
している人がいるから、自分もチャ
レンジしたいと思うくれる人や、
チャレンジしていいという環境を
作ってほしいです。

米坂 ネットワークに参加して
ほしい若い世代は子育て・家事・
仕事などで忙しいですが、そんな
中でも参加したいと思える企画を
考えていきたいです。

里村 いろいろな活動を通して、
女性だけではなく、男性や若い世
代にも多様な働き方があることを
伝えていきたいです。

玉熊 働く上でもっとこうだっ
たらいいとか、それに対するピン
ト等を話せる場になることを希望
しています。

富岡 自分達の働きかけで会社
と従業員のつながりも変えていけ
たらとても素敵だと思っています。

里村 管理職になり立場が変わ
ることで見えてくるものも変わっ
てきたので、そういったことも発
信していきたいです。

相澤 どんな働き方を望むか、状
況は人により違うので、意見等を
集めることが重要になってくる
と思っています。

富岡 私たちがダイレクトに問題
を解決することはできないですが、
課題だと思っていることの抽出な
どはできると考えています。

玉熊 発信していくことで、たく
さんの人が青森はたじょネットに
目を向けてくれるように盛り上げ
たいです。

三浦 いろいろな経験をしている
メンバーと情報共有をして、リア
ルな現状を発信していきたいです。

青森はたじょネットの活動を
通して目指していきたいもの
はありますか？

相澤 知らなければ何も変えら
れないので、まずは青森はたじょ
ネットからいろいろな情報を得て、
自分自身の仕事に対する満足度を
知ってもらいたいです。

富岡 個々の働き方の満足度が
上がっていったら、ビジョンの「わく
わくはたらく」に近づけたらいいと
思います。

青森はたじょネットは、「わくわく はたらく 人を つなぐ」を ビジョンに掲げ活動していきます。

- わくわくする未来を描きながら、自分らしく働く喜びを広げ、人と人、地域と企業をつないでいく
- 職場と従業員をつなぎ、わくわく働くことができるような環境へ変化させていく
- わくわくした気持ちで働く喜びを、現役世代や次世代にもつないでいく

そんな思いを込めています。

活動内容

◆働く女性向けの取組 ◆企業向けの取組 ◆次世代向けの取組

市内で働く女性の皆さんが気軽に参加できて、女性同士や市内で活躍するロールモデルとの交流・意見交換ができる交流会・勉強会の開催などの働く女性向けの取組や、企業の環境改善に向けたアンケート調査などを行う予定です。

仕事の悩みを相談したい

女性が少ない職場だから
情報交換できる場がほしい

自分らしい働き方を
見直してみたい

働きやすい職場に
ついて考えていきたい

そんなあなたへ！青森はたじょネットでは、今後キャリアアップや
職場環境など女性が働く上で課題と感じていること等共有できる機会を
提供していきます。

jinken-danjyo@city.aomori.aomori.jp

今後
新たなメンバーも
募集します！
興味のある方はメールで
お問い合わせください

青森市女性活躍推進セミナー

青森はたじょネット

キックオフイベント

開催しました！

大企業だけじゃない！地方で進める女性活躍

【開催日】 令和7年2月12日(水)
【会場】 AOMORI STARTUP CENTER

《第1部》講演：これからの女性活躍～人口減少社会における地方の在り方～

■講師 株式会社 Will Lab 代表取締役 小安美和氏

- 講演のポイント
- 意識と仕組みをアップデート…性別や年代に関係なく、全ての人が働きやすい職場づくりが必要
 - 地域全体でのムード作り…自治体、地域のステークホルダー、企業が連携して課題解決に取り組むことが重要
 - 平等から公平・公正へ…全ての人が個としての特性を活かして活躍できる社会をつくるため、制約や障害を取り除くことが重要

《第2部》パネルディスカッション

女性活躍推進に取り組む市内企業から成功事例を紹介していただいたほか、地域における女性活躍の現状と課題や働く女性への支援に向けた取組などについて、活発な意見交換が行われました。

- コーディネーター 小安美和氏
- パネリスト 株式会社オカムラ食品工業 代表取締役社長兼 CEO 岡村恒一氏、
株式会社山神 専務取締役本部長 穂元美幸氏、株式会社山神 常務取締役 八桁恵美氏、青森市長 西秀記

